

平成 28 年度事業計画 事業方針

1. 専門的能力の向上と業務領域の拡大

社会の動向や法令の改正、また会員の要望等を踏まえ、適切な研修会を開催する。

空家等対策特別措置法等、新しい業務領域確保に向け、積極的な情報収集と迅速な対応をとる。

境界問題相談センター及び認定土地家屋調査士の活用に関し、センターの規則改正を含め改革を行う。

2. 「土地家屋調査士」の認知度向上

関係諸団体、国・県・市各議員等との協議会・勉強会を開催し、土地家屋調査士制度の更なる理解を図る。

他士業団体への講師派遣を積極的に行い、専門資格者に対し「境界の専門家」としての土地家屋調査士をアピールする。

出前講座を拡充し、学生や学校関係者に職業の選択肢として「土地家屋調査士」を意識づける。

3. 会員の帰属意識の高揚と支部活動の活性化

各支部の研修・懇親等の活動を積極的にサポートする。

研修会をオンラインで他会場（県北や備前等）に配信するなど、出席しやすい環境を提供する。

本会と支部が共有認識を持てるよう、お互いの役員交流に便宜を図る。

4. その他

会の組織体系を見直し、適切な人員配置と業務を行う。

政治連盟・公嘱協会との連携を強め、情報の共有を図る。

総務部

1. 調査士会機能の強化

執行部、理事会、部会、委員会、事務局の情報連携、情報共有を強め、共通認識の下に一体感ある会の運営を行う。

- (1) 情報通信技術を活用し、リアルタイムな情報提供と状況把握を行う。また、事務局の事務効率化を図る。併せて、事務局職員の職能向上に努める。
- (2) 研修会資料及び各種情報等をホームページとメール配信を使って、迅速に提供する。そのために、会員メールアドレスの収集と配信許諾の再確認を行う。
- (3) 入会面接時の説明と指導、研修会や特別研修等への積極的参加の呼びかけ等を行い、新会員の業務をフォローする。
- (4) 各部会、委員会の会議録を徹底し、会として蓄積して会務の継続性を持たせていく。
- (5) 苦情案件に対する適切な対処を行い、適切な会員指導を行う。
- (6) 役員や会員が必要とする資料や情報は、いつでもどこからでも取得できる WEB アクセスシステムを導入し活用する。

2. 会員の資質と職能の向上（スキルアップ）

会は会員の資質と職能の向上に資するため、活動の改善を図る。

(1) 調査士倫理の徹底

継続的に懲戒事例と倫理に関する研修、啓発活動を行う。

(2) 研修活動の強化

業務・研修部と連携して、研修活動の活性化をサポートする。

必修研修指定の導入を検討する。

研修会のライブ中継、録画の動画配信により、当日出席できなかった会員をフォローする。

3. ホームページの充実

ホームページを充実させ、調査士会機能の強化と会員の資質向上に資する。

詳細は IT 委員会の事業計画による。

4. オンライン申請の促進

支部段階の研修会を企画し、オンライン申請のすそ野を広げていく。

詳細は IT 委員会の事業計画による。

5. 調査士法施行規則第 39 条の 2 の規定による調査

法務局の要請に対応する。

6. 法務局、司法書士会、岡山市自民党市議団等との協議会

今年度の三者協議会、二者協議会は司法書士会が当番会となる。

財 務 部

1. 本会会計の管理
2. 会館・備品の管理
3. 厚生事業の実施
 - (1) ボウリング大会の開催
 - (2) 同好会への補助（ゴルフ、釣り、野球、ツーリング）
 - (3) 自由業団体連絡協議会ゴルフ大会、連合会ゴルフ大会への補助
 - (4) その他厚生事業の推進
4. 職員の昇給・賞与の検討
 - (1) 職員の昇給・夏季賞与の決定（第2回理事会にて決議）
 - (2) 職員の冬季賞与の決定（第3回理事会にて決議）
5. 支出削減策の検討

業務・研修部

1. 部会
6回（各市町村の立会、協議書等の取り纏め2回分を含む）
2. 研修会2回
3. 法務局二者実務者協議会
4. 3ブロック（中国・四国・九州）研修会
平成28年9月16日（金）、9月17日（土）
5. 岡山県下各市町村の立会様式、協議書等のとりまとめ
6. 新会員研修会

広 報 部

1. 無料相談会

- (1) 「土地家屋調査士の日」 相談会
- (2) 司法書士会他、各団体・行政主催の相談会への協力

2. マスメディア広告

- (1) 社会を明るくする運動（主唱・法務省）
- (2) 土地家屋調査士PRのために、新聞・ラジオ・テレビの活用
- (3) 岡山県内のスポーツクラブ等への応援
ファジアーノ岡山
岡山湯郷Belle
岡山シーガルズ

3. PRグッズ

- (1) 「PRうちわ」の各支部配布
- (2) 促進グッズの検討

4. 出前講座

- (1) 岡山県立高松農業高等学校、岡山県立水島工業高等学校での出前講座実施に向けての検討
- (2) 他中学校、高等学校での出前講座実施に向けての検討

5. その他

- 中国ブロック協議会での合同広報映像作成

社会事業部

1. 特別研修関係
特別研修実施への協力
2. 境界問題相談センター岡山関係
 - (1) 境界問題相談センター岡山及び ADR 認定土地家屋調査士の活用に関する答申の検討
センター規則等改正のための PT 設置予定
 - (2) 新規関与員の獲得のための活動
センターと共同にて必要に応じて随時行なう
 - (3) 現関与員及び新規関与員のための研修会
弁護士会との共同開催も含め、必要に応じて随時行なう
 - (4) センターについての広報活動
広報部との連携も含め随時行なう
3. 筆界特定制度関係
筆界調査委員の研修（筆界特定室との共同開催も含めて）を必要に応じて検討
4. 筆界特定制度・調査士会 ADR 連携関係
 - (1) 境界問題合同相談会 [年間 3 回（5 月・8 月・11 月）開催予定]
第 16 回（予定） 5/25 於岡山地方法務局備前支局
 - (2) 連絡協議会等を活用してより緊密な連携を継続
第 25 回（予定） 6/1 於土地家屋調査士会館
5. 岡山自由業団体連絡協議会関係
 - (1) 親睦連携部会実務担当者会議
必要に応じて随時開催
 - (2) 第 5 回士業連携フォーラムの実施 9/21 於メルパルク OKAYAMA
講師：近藤正行氏（愛知県土地家屋調査士会会員）
6. 公嘱協会関係
公共嘱託登記の受託推進及び協会に対する助言等について対応
7. 地図整備関係
地図整備に関する情報収集等

境界問題相談センター岡山

1. センター業務

受付 毎月：第1,3水曜日

相談 毎月：第2,4水曜日

2. 運営委員会

随時開催

3. 境界問題相談センター岡山及びADR認定土地家屋調査士の活用

センター岡山運営委員会での答申の検討及び社会事業部での答申の検討を踏まえて、PT立上

PT予定人数 6名程度

開催 月1回程度

4. 境界問題合同無料相談会

第16回 5月25日 於岡山地方法務局備前支局

5. 連絡協議会（法務局筆界特定室と合同会議）

第25回 6月1日 於土地家屋調査士会館

I T 委員会

1. ホームページの充実

CMS（コンテンツマネジメントシステム：ホームページ担当者でなくても簡単に情報の作成・管理ができるシステム）の導入により、迅速かつ豊富な情報発信が可能となっている。研修資料のアップロードに加え、他のコンテンツの充実・整理をすすめ、また各方面からの情報発信を促進させホームページの有効活用をはかる。

2. オンライン申請の促進

昨秋の原本提示省略の取扱開始により、オンライン申請の書面申請に対するアドバンテージは決定的となっている。オンライン申請のメリットを浸透させるべく、月報での情報発信、専用メール窓口での質問対応、各地域での IT 委員のサポート活動、協力が得られる支部には支部単位でオンライン申請研修を行うなど、会員に寄り添った啓蒙・サポート活動を行う。

3. 調査士会の IT 化

現行システム（会員管理、会員証等ソフトウェア）とネットワークの整備、会館の無線ラン環境等、近年構築してきた基盤の維持管理を図る。会議録等資料の迅速な閲覧等のための共有ファイルスペース設置、その他の情報機器の設置等、調査士会の IT 化のために必要と思われる新たな基盤整備に関する提言や実施作業を行う。

境界鑑定委員会

1. 委員会の開催 6回
活動内容、役割分担、委員増員の検討等
2. 切り図、古地図等の収集
県下の切り図、古地図の所蔵状況の調査及び判別方法の研鑽
3. 他会開催の研修会への参加
境界鑑定へのアプローチにつき、先行する他会の状況を把握
4. 研修会（1回）の開催